



上脇博之氏 略歴

1958年7月、鹿児島県始良郡隼人町（現在の霧島市隼人町）生まれ。鹿児島県立加治木高等学校卒業。関西大学法学部卒業。神戸大学大学院法学研究科博士課程後期課程単位取得。日本学術振興会特別研究員（PD）、北九州市立大学法学部講師・助教を経て、2004年から神戸学院大学大学院実務法学研究科教授、2015年から同大学法学部教授。専門は憲法学。2000年に博士（法学）号を取得（神戸大学）。憲法運動、市民運動の分野に参加しながら現在、憲法改悪阻止兵庫県各界連絡会議（兵庫県憲法会議 幹事「政治資金オンブズマン」）共同代表、公益財団法人「政治資金センター」理事など

民主主義を取り戻し、権力の暴走止める

裏金は、それぞれの選挙で作られた可能性が極めて高い。例えば広島河井夫婦選挙違反事件。今の自民党の国会議員の方々は本当に正当性があるといえるのか。

憲法は、国民主権とし、国民が国会議員を選び、国会は国権の最高機関と位置付けています。国会では多様な民意が正しく反映されることを前提としています。それはかつて政党を解散し、大政翼賛会がつくられ、侵略戦争を進めたことへの反省でもあります。カネの力で、国会議員が選ばれたら民意に反した政策が実現されたりすれば、議会制民主主義は成り立ちません。「政治とカネ」にこだわりの手には、私たちの手に民主主義を取り戻し、権力の暴走を止めるためです。



維新の会のお金の流れはどうですか？

実は、大阪維新の会の政治資金パーティーについて音喜多氏のブログの数字と収支報告書の金額は1億円以上違うので、裏金が作られているというふうにご報告しました。大阪維新の会が母体です。大阪維新の会は、日本維新の会の支部ではなくひとつの政治団体なので、法律上、企業献金を受け取れないんです。そして、どうやって企業献金を受け取るかというと政治資金パーティーです。実は20万円を超える明細を書いていないのがたくさんありました。その時は、大阪維新の会のお金の流れは、パーティーについて音喜多氏のブログの数字と収支報告書の金額は1億円以上違うので、裏金が作られているというふうにご報告しました。大阪維新の会が母体です。大阪維新の会は、日本維新の会の支部ではなくひとつの政治団体なので、法律上、企業献金を受け取れないんです。そして、どうやって企業献金を受け取るかというと政治資金パーティーです。実は20万円を超える明細を書いていないのがたくさんありました。その時は、大



「線状降水帯」という単語に違和感がなくなってきた。明らかに昭和の「夕立」とは異なる。ゆえに世の中は常に変化していきものと思ってい

行われる。残念ながら過去には日歯連盟から自民党へのヤミ献金（迂回献金）事件（注）が明るみに出て、患者さんから、「先生らはよしいやん。なんかかんや言うても上手いことなってますやん」と言われた事が忘れられない。原因はどこにあるのか？表面的には自民党か、日歯連盟か、と感ずるが、究極の答えは「有権者のリテラシー」にある。

社会保障費を削減する・消費税を上げる・軍事費を増やす等を公約に掲げる政党に自民党へ投票しておきながら、増税や

談話室 だんわ室

有権者のリテラシー

安積 中 (平野区)

診察報酬の削減に愚痴をこぼす医療関係者には呆れてもの言えない。自分が投票した政党が公約を実行したまでの話で最初からわかっていたはずだ。今回の「ベースアップ評価料」についても、届出を行うか否かを自分で考えず、「寄らば大樹の陰」的な発想で届けている医院が多いようだ。大事なことは、周りの目線ではない。職域代表の国会議員を一人当選させた所で何の解決にもならない。小泉政権が郵政解散した時に、亀井静香氏（広島6区）は自分の信念を曲げてまで自民党

にしがみつこうと捨てて、国民新党を立ち上げて当選を勝ち取った。これが政治家である。ちなみに麻生太郎元総理は後に「本当は郵政民営化に反対だった」と吐露している。これは政治屋である。根本的な改革を望むなら政権交代しか無い。自分が信頼できる政治家に投票すれば、後で愚痴をこぼさなくて済む。「長いものに巻かれる」で投票先を選ぶなら、投票先の政党が政策を実行した時に文句を言っはいいけない。結論として、目先の診察報酬をチャマチャマ上げるより、少子高齢化対策を最優先して、一部負担金を軽減もしくは無料にする方が、結果的に患者さんにも医療機関も苦痛を伴わない。これぞSDGsの時代に相応しい政策と考える。梅雨明けと共に解散総選挙の足音が近づいてきた気がしてならない。子どもや孫の世代まで安心できる社会保障制度の維持のために、自分で考えて投票しよう。

注 日歯連盟ヤミ献金・迂回献金事件とは

2001年、橋本龍太郎元首相ほか自民党幹部ら3人の政治家に対し日歯連・白田貞夫元会長、内田裕丈元常任理事から1億円の授受が行われた。白田元会長と1億円のヤミ献金を処理した会計責任者は有罪が確定、2004年に発覚。その後政治団体間の献金上限が5000万円と改められたが、2013年には日歯連が参院選の組織内候補として擁立した自民党の石井みどり参院議員の後援会に4500万円を寄付する一方、別途5000万円が別の団体（民主党・西村まさみ後援会）を経由し石井後援会に寄付され、政治資金規正法を免れるために迂回献金したとの疑惑が起こった。

危険いっぱいの大阪・関西万博

協会は大府府・市などが開催準備を進める2025年大阪・関西万博の中止を求めている。今年に入り開催地域での汚染土壌のガス爆発が起り、災害時の避難計画もいまだないところへ小中学生を無料招待の下に動員させる方針が府民の大きな不安を増大させている。多くの問題がまだ解決されていない中で、万博会場では熱中症対策や、トイレの不足、介助を必要とする生徒の対応など新たな問題も次々と明らかになっている。強い毒性を持つ要緊急対応特定外来生物の「ヒアリ」約550匹も発見された。子どもたちをこんな場所へ送り出すことは極めて危険である。能登の震災から半年たつたが、水道の復旧もままならない地域もあり、復興がまだ進んでいない状況がある。政府は、被災地に影響はないと言うが、限りある資材や人が不足していることが当初から懸念されていた。今やらなければいけないのは万博・カジノではなく、被災地の支援・復興を進め、政府は責任を果たすべきである。工事が始まっているからと諦める必要はない。協会は大府府・関西万博の中止を求める署名」に取り組んでいる。署名用紙の裏面には万博開催の大きな問題点がわかりやすく解説されている。多くの協力を呼びかけたい。

中止求める署名にご協力ください



「大阪・関西万博の中止を求める」要請署名用紙（左表）（右裏）

ネット署名はこちらから→



追加のご注文は 協会 (06-6568-7731) まで